

令和2年度 秋季中部選手権における 新型コロナウイルス感染症予防策(10月15日現在)

(一社)静岡県バレーボール協会では、(公財)日本バレーボール協会の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対策(以下、感染予防対策とする)を踏まえた大会運営指針に基づき、各カテゴリーの大会運営における感染予防策を作成しています。選手やスタッフ・その家族の方々の健康面を最優先とした決定をご理解いただくとともに、下記に示す感染予防策へのご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染状況により、この感染症予防策も変更することがあります。

記

1、体育館内の人数制限(各試合で以下の者の体育館への入館を認める)

①生徒はベンチ入りメンバー12人(試合ごとに12名を選出し登録する)。

来校して良いのは、登録されるメンバーのみ。試合ごと変更する場合は、12名以上でも可。上限は定めないが、応援のみの生徒は、来校しない。

②スタッフ(監督・コーチ・マネージャーの)最大3名(マネージャーは生徒でもよい)。

※スタッフはIDカード(別紙)が見えるように携帯する。

※ベンチは3脚のみ用意する。

③生徒役員の8名(IF2名、ラインズ4名、得点2名)。

④主副審判を務める大人2名。

⑤保護者は各校3名までとし、会場に設置された保護者観戦用のイスに座って応援する。

※入場者のチェックと管理は、各校顧問が責任をもって行う。

※体育館内に入る保護者は必ず健康チェックシートを提出する。

※体育館内にいる保護者は必ずIDカード(別紙)が見えるように携帯する。

※試合ごとに保護者が入れ替わっても良いが、セット間や試合中は認めない。

⑥スタッフと保護者のIDカードは各校で用意する。(別紙を利用)

2、参加者の健康チェック

①選手とスタッフ、保護者は健康チェックシートをチームの代表者に提出し、チーム代表者は集めたものを会場総務に提出する。※健康チェックシートは別紙参照

②健康チェックシートの項目に該当する場合は、参加できないこととする。

3、試合中の感染症対策

- ①チームスタッフならびに控え選手は、試合中においても原則マスクを着用する。ただし、競技者交代前後の選手や、リベロプレーヤーなどについては、競技に支障がでる可能性があるため、着用しなくても良い。ただし、声をだして応援することは控える。
- ②主副審は電子ホイッスルを用いる。電子ホイッスルは、各校で持参する。
- ③プレーの妨げにならないところは窓を開けて換気を行う。
- ④試合間やセット間、タイムアウト時にボールの交換を行い、その都度清潔な布でボールの表面を拭く。また、それ以外の場面でも積極的にボールの交換を行う。
- ⑤試合前後の選手のあいさつはエンドライン上にて礼をする。
- ⑥セット間や試合間にはネットや支柱、イスへの消毒液の散布を積極的に行う。
- ⑦試合前後には、手洗いの励行を選手及びスタッフへ呼び掛ける。

4、試合進行と審判（プログラムの試合進行表を参照）

生徒役員については、原則前の試合で敗退したチームとする。

5、その他

お互いに協力し合い、3つの密を避けること。

1. 密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
2. 密集場所（多くの人が密集している）
3. 密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や共同行為が行われる）

- ①参加するチームの選手及び顧問は、各中学校で行っている感染症予防対策を順守する。
- ②消毒液等、除菌に必要な道具を協会で用意し、会場に設置する。
また、参加する各校でも消毒液等を持参する。
- ③昼食休憩の際は、特に3つの密に気をつけるよう呼び掛ける。
- ④開会(始)式を行わず、競技や審判、会場使用上の注意などは各顧問より伝達する。
- ⑤更衣室の利用時間を最小限とし、換気に留意する。また、更衣室でのミーティングは行わない。
- ⑥敗退し、審判の役割が終わった学校は速やかに会場を出る。